

「2018 まちのきこり人育成講座」レポート

今年の育成講座の参加者は4名と例年に比べて少人数の構成となってしまったが、彼らを立派なきこり人に育てるべく育成講座をスタートした。

今年の特徴としては、各回の講座内容は例年どおりであったが、外部講師の導入等、新たな試みを行った。(財源はイオン財団助成金、かんぽ生命保険寄付プログラムの援助を受けた。)

○ 3月25日(日)「基礎編」

基礎編では、外部講師として、現在、森林組合等で林業に携わっている高崎氏、中田氏、安江氏をお招きして、人工林、自然林等を歩きながら、意見交換を行い、受講生、講師のそれぞれの森林に対する思いを語り合い、林業関係者の生の声を伺えたのはとてもいい刺激になりました。



○ 4月9日(日) 第1回「きこり体験」

森林の風の活動概要、森林保全活動での注意事項、道具の使い方、正しい伐倒方法等を学習。午後からは、枝打ち、ノコギリ間伐、ロープワークの実習を行った



○ 4月15日(日) 第2回「森を測る」

コンパス測量、標準地調査を行い、そのデータを下に間伐等の施業計画を立案した。今回は、レーザー距離計を用いて樹高を測定した。今後、新しい機器への変換も視野に講座内容も考慮していきたいと思っています。

○ 4月22日(日) 第3回「チェーンソーに触れる」

チェーンソー作業の危険度の認識に始まり、チェーンソーの構造、操作要領などを説明し、実際にエンジンを始動させ、丸太を材料にして、上伐り・下伐り・突込み伐りなどの実技を体験してもらいました。その後、受け口の練習をし、最後に、目立て作業を行い、チェーンソーの整備を行って終了。



○ 5月13日(日) 第4回「チェーンソーで伐る①」

この日は、レベルアップ研修でお馴染みの、川島氏をお招きして、チェーンソー間伐実習を行った。あいにくの天候で降雨の中、間伐実習となったが、講習生には貴重な体験となったであろう。午後からは、降雨も激しくなったので、講師より、林業に関する常識、非常識についてお話を伺った。



○ 5月20日（日）第5回「チェーンソーで伐る②」

前回の実習を踏まえ、正確に抜倒方向を意識した間伐実習を行った。途中、プラロックを使用した、牽引を考慮した抜倒についても実習を行った。

○5月27日（日）第6回「チェーンソーで伐る③」

今回は、お馴染み、黒滝村森林組合の梶谷氏を講師にお招きし、チェーンソー間伐の締めくくりとして、事故事例のお話を伺い、思いも新たに伐倒方向の確認、正確な受け口、追い口の入れ方等をチェックしてもらった。その後、偏心木の抜倒をイメージしチルホールを使用した抜倒の実習を行った。



○6月10日（日）第7回「安全・衛生講習」

本講習の売りでもある、安全・衛生講習。今年は、三重大学附属病院、救急糾明センター看護師の森川氏より、熱中症、危険な植物・生物、アナフィラキシーショックについての講義を行っていただいた。午後からは、AEDの使用方法、人形を使って胸部圧迫（心肺蘇生法）について実習を行った。



今年度は、少ない参加者ではあったが全員が休むことなく参加でき充実した講習となり、無事、修了証も全員にお渡しすることができた。